NEWS RELEASE

この挑戦が、未来となる。
ちゅうぎんフィナンシャルグループ

令和７年６月１０日
株式会社 ちゅうぎんフィナンシャルグループ

TNFD 提言にもとづく情報開示の実施について

ちゅうぎんフィナンシャルグループ（岡山市北区丸の内一丁目１５番２０号 社長 加藤貞則）では、自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures：TNFD※）の最終提言にもとづき、当社グループの活動による自然資本への影響につき、「TNFD 提言への取組み」として開示しましたのでお知らせします。

経済活動の多くは自然資本に依存しており、生物多様性の損失は自然資本を劣化させ、経済活動の低下につながります。世界的に自然環境は急激に変化しており、自然の損失を止め、回復させる「ネイチャーポジティブ」への取組みがますます重要となっています。

当社グループでは、持続可能な経営に向けた重要課題として「環境経営の促進」および「地域経済・社会の活性化」を設定し、生物多様性や脱炭素といった環境課題に積極的に取組み、環境と経済との両立を目指しています。

本開示により、自然環境と経済の関係性を示し、把握したリスク・機会をもとに施策を展開していくことで、ステークホルダーとの信頼構築につなげるとともに、地域経済の活性化に貢献してまいります。

１．　開示概要

・ 岡山県内を対象に、自然資本の特徴を踏まえた分析を実施
・ 融資先ポートフォリオのうち、TNFD の観点でリスクが高い融資先セクターとして 7 セクター（資本財、建設・エンジニアリング、不動産管理・開発、アパレル、林産業、化学、トラックサービス）を特定し、リスクと機会を分析
・ 中国銀行支店周辺の自然資本重要エリアの分析
・ 上記 2 つの分析にもとづき、ネイチャーポジティブに資するアクションを検討

２．　開示内容

下記 URL からご覧ください。
https://www.chugin-fg.co.jp/sustainability/environment/tnfd/

※TNFD

企業や金融機関が自然資本や生物多様性に関連したリスクや機会を適切に評価し、開示するための枠組みを構築する国際的な組織（https://tnfd.global/）

以　上